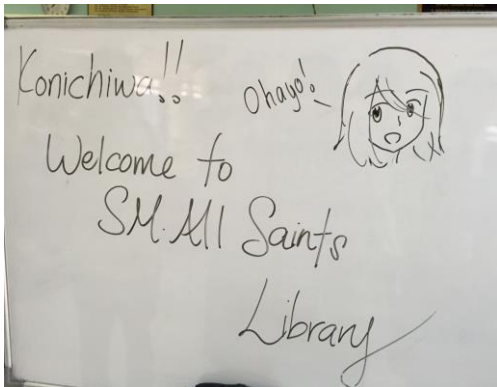


滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成28年8月18日~25日] 第12号

マレーシアレポート 6日目(8月23日)

6日目はオールセインツ高校図書室の素敵な歓迎から始まりました。図書室には日本が大好きな生徒がいて、日本語で自己紹介をしてくれてとても嬉しかったです。



図書室を後にし、サバ大学に移動。ギャラリーで様々な資料を見ました。テングザルのはく製や、虫、草木のしづりなどを見ながら、ボルネオ島の生物多様性について説明を受けました。2日目に自分の目で見たものもあれば、珍しいものでなかなか出会うことがないものまで、幅広い展示がされており、楽しく学ぶことができました。



また、ギャラリーにはジャングルでのキャンプの仕方についての展示もありました。

ジャングルの中では普通のテントを使うことが出来ません。なぜなら、雨水や蛇に襲われてしまうからです。床を高くし、蚊よけのネットを張ることが大事なポイントです。

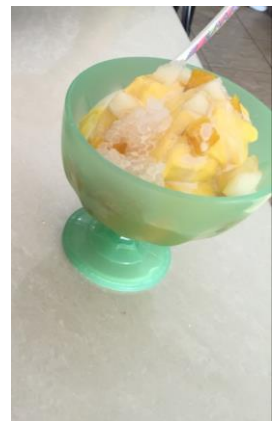


また、暑い中でも長袖を着ていなければなりません。私たち自身も森の中を歩くときは虫よけを徹底し、長袖の上着を着ていることもありました。ですが私は研修中、虫が原因で足に水ぶくれができてしまいました。

ギャラリーを見た後は、環境保全についての講義を受けました。そしてマレーシアと日本に分かれ、それぞれの国の環境問題と解決策についてプレゼンを行いました。模造紙に簡単にまとめましたが、原稿なしの発表でとても緊張しました。

発表後は現地の高校生たちに混ざり、7日目に向けてのポスター作りを進めてサバ大学での活動を終えました。

ホームステイ先への帰り道、寄り道をして食べたのがマンゴーアイスです。マンゴーは日本だとおよそ3000円~5000円ほどの値段で売られています。しかしマレーシアではたったの210円程度で売られていて、羨ましいなと思いました。その話をホストファミリーにすると、とても驚かれました。



現地の高校生たちと交流することが多くない、英語をうまく話せないことや、うまく聞き取れないことが辛かったです。ですが現地の人は沢山の言語を使うことが出来ます。私のホストファミリーは英語、マレー語、中国語をスラスラと話していました。私ももっと勉強し、言葉の壁を無くしたいです。

(文責)2A 岡本